

リモコン式投光器

取扱説明書

〔 TYPE : HS-A型 〕

生産終了
Production end

このたびは、**パトライト®**をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
保守・点検や補修などをするときは、必ず本書を読み直してください。
なお、ご不明な点は最終ページに記載しています技術相談窓口へお問い合わせください。
また本書は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

**危険**

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

**警告**

この表示の欄は「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

1. 安全のために必ずお守りいただきたいこと

安全上、特に重要な事項ですので必ずお守りください。

危険

発火注意

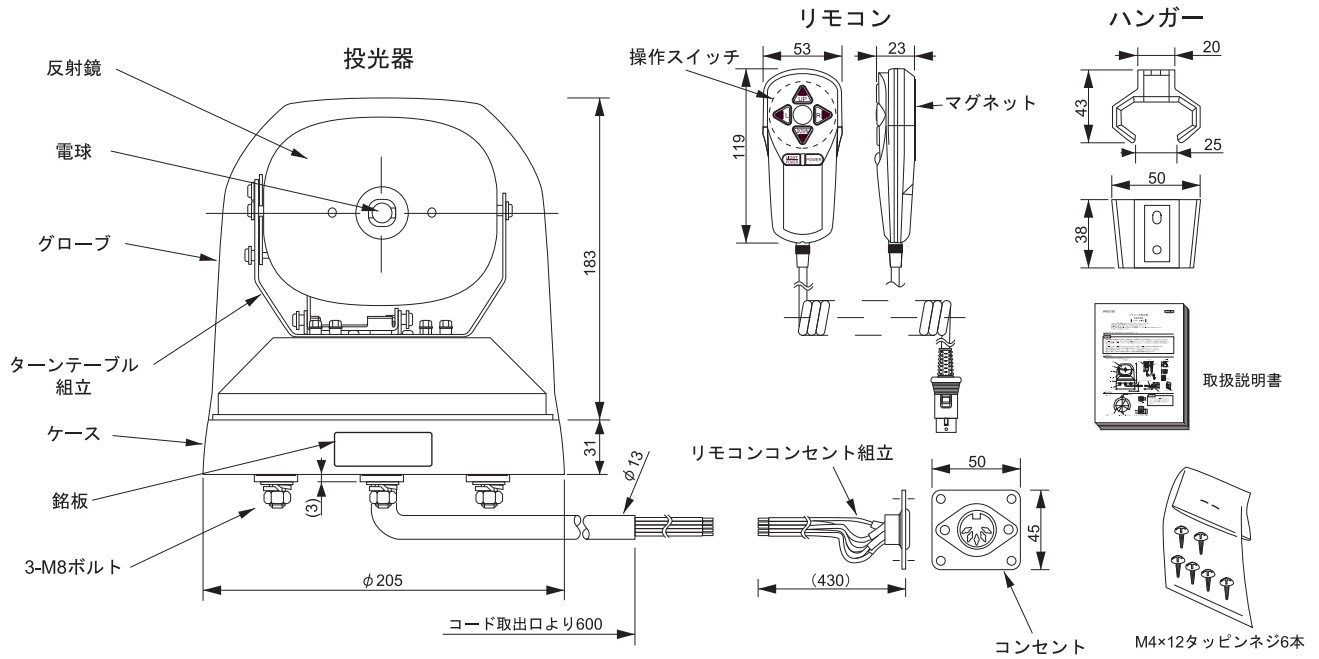
- 回転灯が点灯しているときに紙や布などの燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 製品の「銘板」に表示された仕様以外の電球を使用すると火災に原因となります。

警告

- 電球交換などの補修をされる際は、火傷防止のため、必ず電源を切って電球の熱が下がってからおこなってください。
- グローブを外したままや、割れたままでの放置・使用はしないでください。電球の熱による火傷など非常に危険です。
- 電球や反射鏡・グローブ（プラスチック類）は割れやすいものです。ケガをしないように取扱いには充分注意してください。
- 電球や反射鏡は、点灯時および消灯直後は高温になりますので手を触れないようにしてください。
- 電球交換時など反射鏡に触れないように注意してください。反射鏡の端でケガをすることがあります。

2. 呼称表示

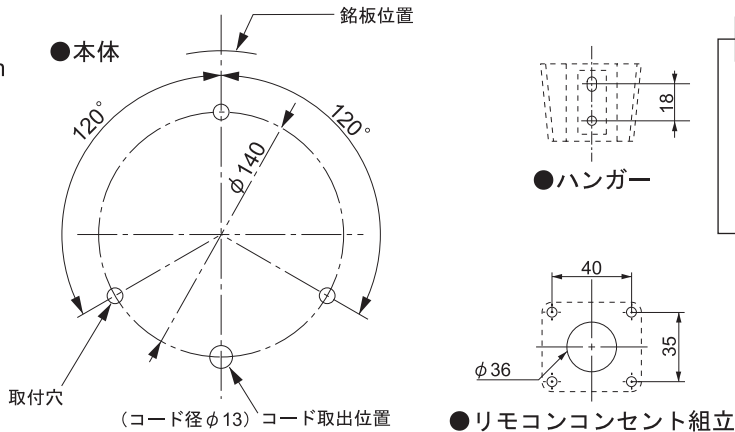
本製品には以下のものが梱包されています。



3. 取付方法

取付穴寸法図

単位：mm



注意

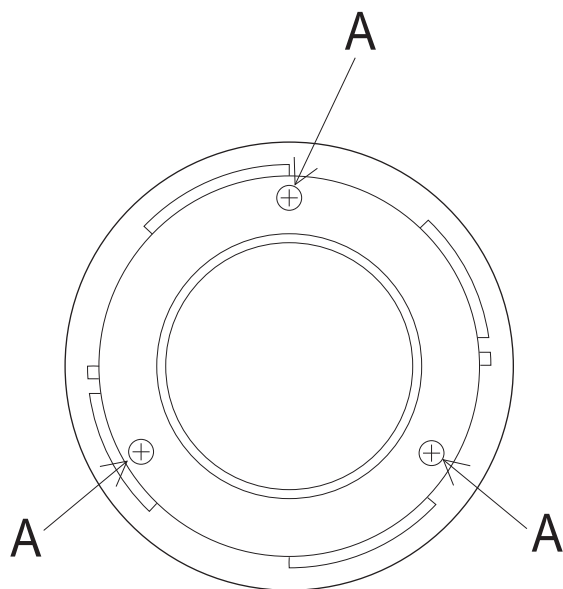
※リモコンハンガー及びリモコンコンセント組立を取り付ける際、水がかからない場所に取り付けてください。

●投光器の取付方法

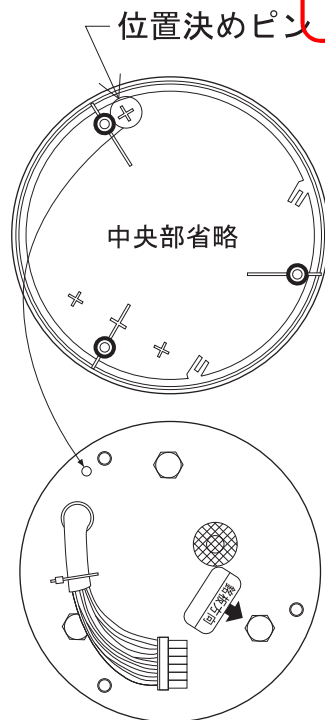
1. 取付穴寸法図に従い取付面に穴を開けます。
2. 図1のように投光器本体を付属の座金、パネ座金、六角ナットでしっかりと固定します。

●底板を先に取り付けられるときは、以下の手順でおこなってください。

1. グローブを外します。（取扱説明書6頁・6.1グローブ交換方法参照）
2. ケースの取付ねじ3本をゆるめます。（概略上面図A部）
3. 本体を少し持ち上げ基板に接続されている10芯コードの10Pカプラを取り外します。（10Pカプラは、ロックがついていますのでロックを外してからおこなってください。）
4. 底板を取り付けます。（投光器の取付方法参照）
5. 基板を保持し、10芯コードの10Pカプラのロックを下向きにして取り付けます。（取り付け後に、ロックが働き10Pカプラが抜けを確認してください。）
6. 銘板方向を合わせ、位置決めピンを底板の位置決め穴に入れて本体を底板にのせてケースの取付ねじ3本（概略上面図A部）を2.45 $\frac{25}{1000}$ N・mのトルクで締め付けます。
7. グローブを取り付けます。（取扱説明書6頁・6.1グローブ交換方法参照）



概略上面図



本体取付要領図

●リモコンハーネス組立、ハンガーの取付方法

図2のようにリモコンハーネス組立、ハンガーを付属のタッピンネジを使用し取り付けます。

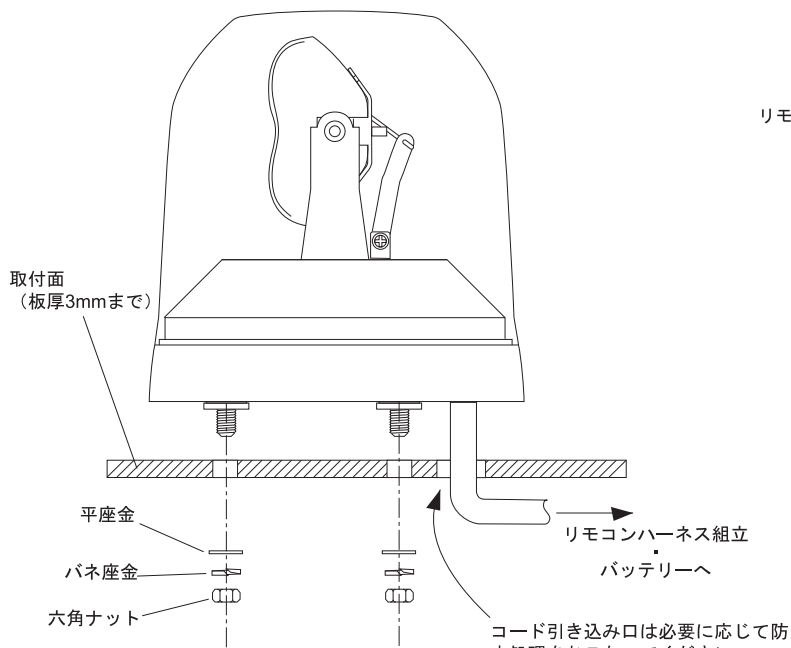


図1 (投光器)

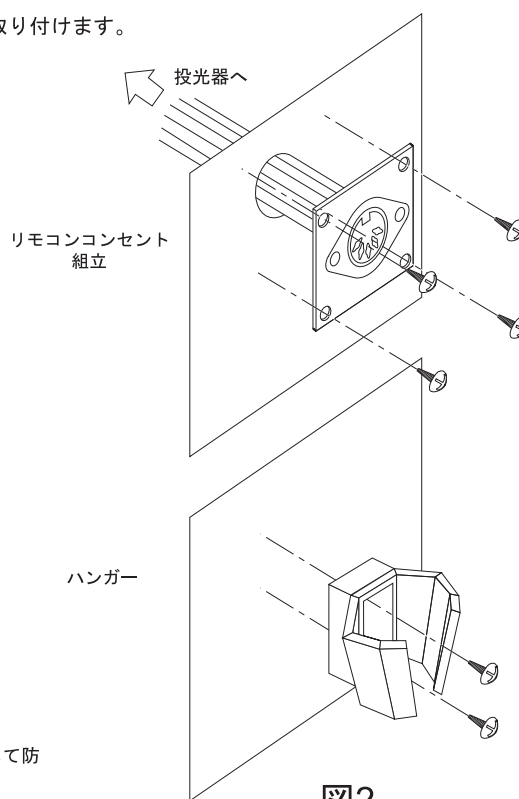


図2

注意

- 投光器を取り付けるときは逆さま、横向きでの使用はできません。必ず鉛直水平方向でご使用ください。浸水、故障の原因になります。
- リモコンは使用終了後、ハンガーにかけて保管してください。
- リモコンはカールコードの伸縮可能範囲(2m)以内でご使用ください。伸縮可能範囲をこえてのご使用はカールコードの断線や、コンセントの故障の原因になります。

4.配線方法

警告

- 配線は、バッテリーの⊖端子を外して作業をおこなってください。
- 配線は間違いのないよう、充分注意してください。配線を間違えると内部回路が焼損し、火災の原因になります。
- バッテリーの保護、配線火災防止のため、電源線⊕側に必ず、保護外部ヒューズを入れてください。（外部ヒューズの容量は下表を参照してください。）
- リード線は配線後、まとめてケーブルクランプ、テープなどで束ね、走行中などの振動で動かないようにしてください。特にアクセル、ブレーキ、クラッチなど重要機構には絶対当たらないようにしてください。

注意

- 配線時は、エンジン・ファン・タイミングベルトなどに触れないように注意してください。
- リード線は強くひっぱらないでください。
- 配線は可動部でこすれたり、押し付けられたりしないように注意してください。

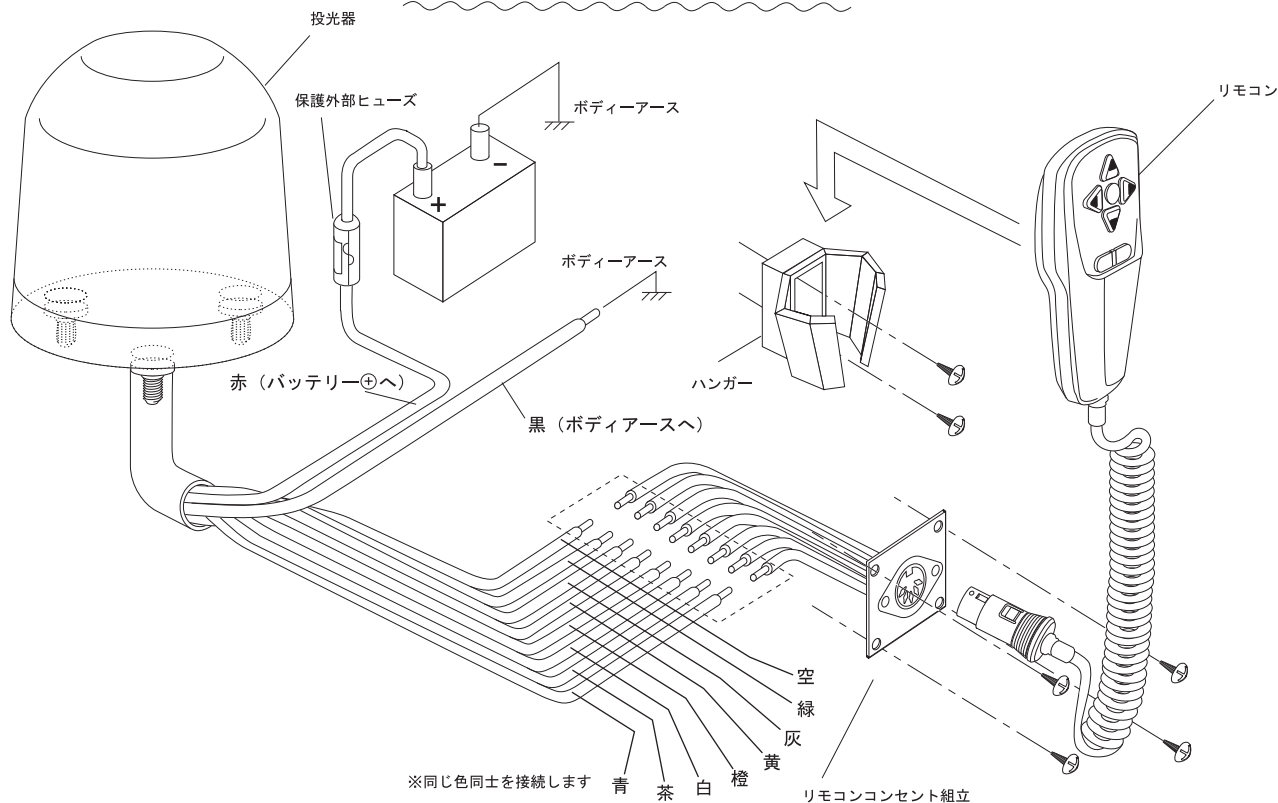
●コード色と機能は以下の表のようになります。

コード色	機能	線種
赤色	電源線⊕	AV1.25sq
黒色	アース線⊖	AV1.25sq
白色	投光器 上用信号線	AV0.5sq
黄色	投光器 下用信号線	AV0.5sq
茶色	投光器 右用信号線	AV0.5sq
緑色	投光器 左用信号線	AV0.5sq
橙色	リモコン用電源線	AV0.5sq
空色	電球用信号線	AV0.5sq
灰色	電源起動線	AV0.5sq
青色	COM線	AV0.5sq

機種名	外部ヒューズ
HS-12A	15A
HS-24A	5A

外部ヒューズ表

配線は下表を参照し、配線してください。（保護外部ヒューズは必ず入れてください。）



5.ご使用について

●電球を点灯させずにターンテーブルのみ動作させる場合

- 1.リモコンの「POWER」スイッチを押し電源を入れます。
- 2.リモコンの「POWER」スイッチは押すごとにON \leftrightarrow OFFと切り替わり、「POWER」スイッチの内照灯も同時に点灯 \leftrightarrow 消灯と切り替わります。

「POWER」スイッチの内照灯が点灯時、電球を点灯させずにターンテーブルの動作が可能になります。

●電球を点灯させターンテーブルを動作させる場合

- 1.リモコンの「LIGHT POWER」スイッチを押して電球を点灯させます。
- 2.リモコンの「LIGHT POWER」スイッチは押すごとにON \leftrightarrow OFFと切り替わり、「LIGHT POWER」スイッチの内照灯も同時に点灯 \leftrightarrow 消灯と切り替わります。

「LIGHT POWER」スイッチの内照灯が点灯時、電球を点灯させた状態でターンテーブルの動作が可能になります。

●操作スイッチの動作について

操作スイッチは押している間だけターンテーブルが動作し、各スイッチの動作は右図のとおりです。

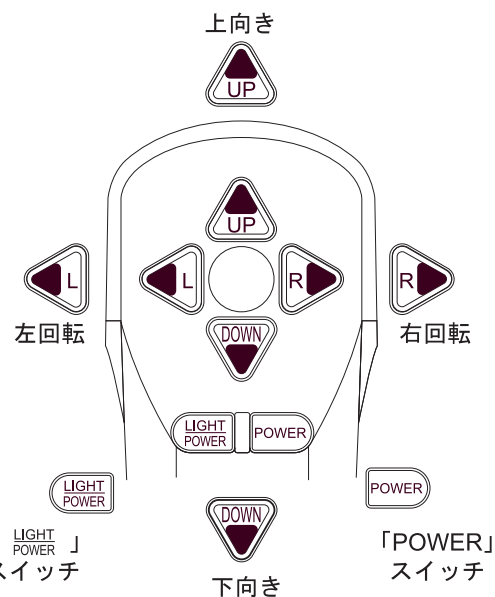
(上下、右左の組み合わせによる動作も可能です。ただし、上と下、右と左を同時に押した場合動作しません。)

●「POWER」と「LIGHT POWER」キーの動作について

- 1.「POWER」と「LIGHT POWER」のスイッチは同時にONさせることが可能です。同時に二つのスイッチが点灯している場合、「LIGHT POWER」の機能が優先されます。
- 2.「POWER」と「LIGHT POWER」の両方のスイッチが「切」のときは操作スイッチの内照灯が消え、操作スイッチの入力を受け付けなくなります。本機を使用しない場合は必ず「POWER」「LIGHT POWER」両方のスイッチを切っておいてください。「POWER」・「LIGHT POWER」キーの状態に対する投光器、リモコンの動作は表1のようになります。

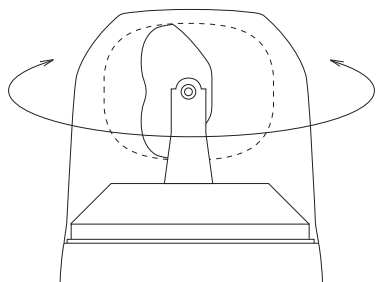
表1

		内照灯	反射鏡	電球
POWER キー	ON	点灯	操作可	消灯
	OFF	消灯	操作不可	消灯
<small>LIGHT POWER</small> キー	ON	点灯	操作可	点灯
	OFF	消灯	操作不可	消灯

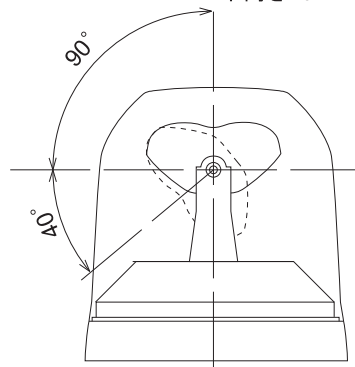


●反射鏡の可動範囲は下図のようになります。

水平方向・・・全周回転式（反転可能）



垂直方向・・・上向き90°
下向き40°



注意

- 長時間の連続回転をおこなうと回転機構部の寿命が短くなります。
- リモコンは水のかかる場所で使用しないでください。
- リモコンを落下させないでください。内部回路の破損など、故障の原因になります。
- 投光器を使用しない場合、必ず「POWER」と「LIGHT POWER」両方のスイッチを「切」にしてください。バッテリー上がりの原因になります。

6.保守点検について

警告

- 電球交換などの補修をされる際は、火傷防止のため、必ず電源を切って電球の熱が下がってからおこなってください。
- グローブを外したままや、割れたままでの放置・使用はしないでください。感電するなど非常に危険です。
- 電球やグローブ（プラスチック類）は割れやすいものです。ケガをしないよう取り扱いには充分注意してください。

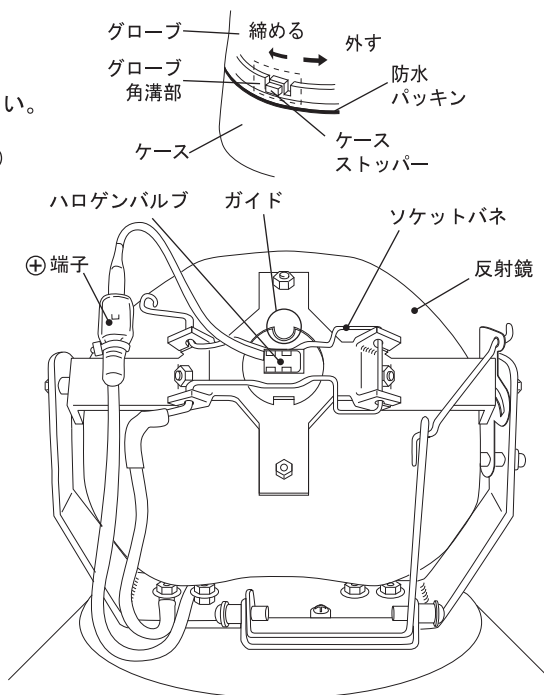
注意

- 電球取付時に、ガラス部分に指紋などをつけないようにしてください。（短寿命の原因になります。）
万一汚損した場合はアルコールに浸した布で拭いたうえでご使用ください。
- 電球は確実に装着してください。（電球脱落の原因となることがあります。）
- 交換電球は指定以外のものを使用しないでください。
- 使用済の電球は割らずに廃棄してください。（ケガの原因となることがあります。）

1.グローブ、及び防水パッキンを交換される場合

グローブ、及び防水パッキンを交換される場合は、以下の手順でおこなってください。

- 1-1 電源を切る（「POWER」と「LIGHT POWER」の両スイッチを消灯状態にする。）
- 1-2 製品上部より見て、反時計方向にグローブを回し（あたりのある所まで50～60mm回転させ）上方向に取り外す。
- 1-3 防水パッキンを交換される場合、古いパッキンを外し新しいパッキンを取り付けてください。（パッキンに方向はありません。）
※防水パッキンを交換されない場合
ケースへ取り付けられている防水パッキンは、取り外さないでください。防滴機構に支障をきたします。
- 1-4 新しいグローブをケースに取り付け、製品上部より見て時計方向にグローブを回してください。その場合ケースストッパがグローブ角溝部に来るまでしっかりと、回してください。



2.電球を交換される場合

- 2-1 反射鏡をもっとも下向きの位置に動かして止めます。（作業がおこないやすくなります。）
- 2-2 電源を切る。（「POWER」と「LIGHT POWER」の両スイッチを消灯状態にする。）
- 2-3 前記「1-2」を参照し、グローブを取り外す。
- 2-4 電球の⊕端子を外す。
- 2-5 図1の様にソケットパネを外し、電球を取り出す。
- 2-6 新しい電球の切欠き部をソケットのガイドに合わせ、ソケットパネを取り付け固定する。
- 2-7 電球の⊕端子をしっかりと接続する。
- 2-8 グローブをケースに取り付け、製品上部より見て時計方向にグローブを回してください。その場合ケースストッパがグローブ角溝部に来るまでしっかりと、回してください。

両端を内側下方向に押し外す。

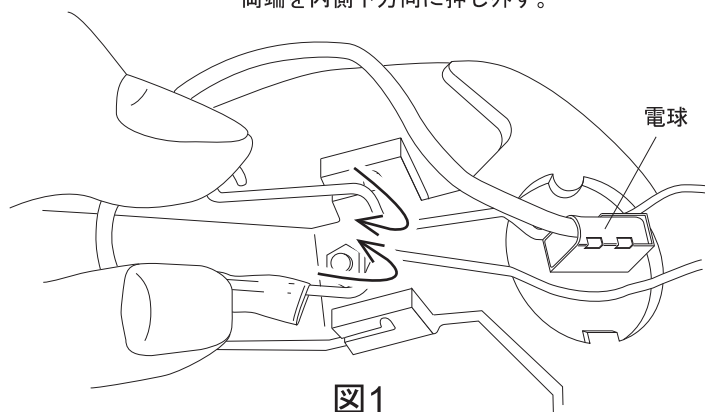


図1

7.修理を依頼される前に

修理を依頼される前に今一度、下記の内容をお確かめください。
それでも正常に作動しないときには、修理をご依頼ください。
なお、ご不明な点は技術相談窓口へお問い合わせください。

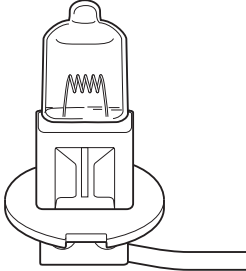
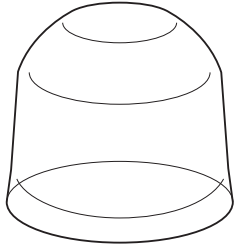

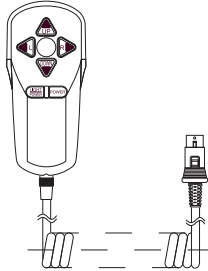
症状	点検項目	処置方法
電球が点灯せず、 ターンテーブルも動作しない。	電源が供給されていますか。	電源線の接続を確かめてください。
	本体-電源間のヒューズが切れていませんか。	ヒューズ切れの要因を取り除き、新しいヒューズと交換してください。
	アース線が正しく結線されていますか。	アース線を正しく結線し直してください。
電球が点灯しない。	「LIGHT POWER」スイッチがONになっていますか。	「LIGHT POWER」スイッチをONにする。
	電球が切れていませんか。	新しい電球と交換する。
ターンテーブルが動作しない。	「POWER」または「LIGHT POWER」のスイッチがONになっていますか。	「POWER」または「LIGHT POWER」のスイッチをONにする。
	モーターは回転していますか。	モーター寿命です。 修理を依頼してください。

8.仕様

機種名	HS-12A	HS-24A
定格電圧	DC 12V	DC 24V
使用電圧範囲	9.5V ~ 15.0V	20.0V ~ 30.0V
定格電流	7.2A	2.8A
定格消費電力	100W	70W
使用電球	JA 12V 100W(ハロゲン球) (口金)PK22s (バルブ)T10	JA 24V 70W(ハロゲン球) (口金)PK22s (バルブ)T10
使用温度範囲	-30°C ~ +40°C	
取付方向	水平方向	
耐水性	JIS D 0203 S1	
耐振動性	JIS D 1601 70m/s ² 3種B種	
光度	200,000cd 以上	100,000cd 以上
可動範囲	水平面より-40° ~ +90° 照射可、-40° ~ +90° まで約10秒で移動 回転：全周連続回転（1周約15秒）	
グローブ	ポリカーボネート樹脂	ケース ポリカーボネート樹脂
質量	投光器本体 約2.1kg	リモコン 約0.25kg
外部突起対応	○	×

9.補修部品

補修部品として以下のものがあります。

 <p>電球 型式：HS-12A用 型式：HS-24A用</p>	 <p>グローブ HS-12A/24A共通</p>	 <p>防水パッキン HS-12A/24A共通</p>	 <p>リモコン HS-12A/24A共通</p>
---	--	---	--

10.外部突起規制への取り組み

■対象車種

3・5・7ナンバーの乗用車が対象（8ナンバーでもベース車で識別）

※1・4ナンバーの商用車・二輪自動車・トラック・建機類は対象外

上記の対象車両については、後付けの青色回転灯・スピーカキャリアも外部突起規制の対象となります。

※1：外部突起規制に対応していない製品を取り付けた場合は新車登録できません。

※2：「外部突起対応」は弊社製品単体での評価です。車両搭載の仕方によっては規制の対象になる場合があります。

※3：取付状態での規制対応については、お近くの管内運輸支局・事務所・自動車検査独立行政法人にお問い合わせください。

平成13年6月、自動車の国際基準調和の一環として道路運送車両の保安基準が改定され、国際基準である「乗用車の外部突起（協定規則第26号）」が導入され、平成21年1月1日以降の新車から適用となっています。

なお、この改正の目的は、車体の外形等に関する基準を明確化することにより、自動車と人との衝突や接触の際に人が負傷する危険性が減り、又は負傷の程度が軽減されることにあります。

パトライトは、法令遵守企業として、これらの技術基準への製品対応を推進することで、より確かな「安全」をお届けしたいと考えています。

[メモ]

製品保証規定

この保証規定は、お客様がお買い上げ頂いた製品に関して、株式会社パトライト（以下、「弊社」といいます）が保証する内容について明記しています。

第1条(目的)

1. 本規定は、弊社の製品（以下、「本製品」といいます）に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。
2. お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社との間で本規定の効力が有効に生ずるものとします。

第2条(保証対象および保証期間)

弊社は、お客様が本製品を購入された日から1年以内（以下、「保証期間」といいます）に本製品について以下の各号のいずれかに該当した場合（以下、「不良」といいます）、次条に定める保証責任を負うものとします。

- ①本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変質または変形が発生した場合
- ②本製品が製品仕様書に定められた性能を発揮しない場合

第3条(保証内容)

1. 弊社は、本製品に不良が生じた場合（以下、「不良品」といいます）、自らの裁量によって無償による修理または代替品の提供のいずれかの措置を講じるものとします。
2. 弊社が前項の措置を講じた場合、当該措置がなされた本製品の保証期間は、当初の不良品に関する保証期間と同一とします。
3. 弊社が第1項に基づきお客様に対して本製品の代替品の提供を行った場合、弊社において回収致しました不良品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
4. 弊社は、第1項の代替品の提供に関して、製造中止等の諸事情により同一製品を提供できない場合には、自らの裁量により本製品と同等以上の性能を有する製品を提供できるものとします。
5. 以下の各号の部材は、保証の対象外とします。
 - ①消耗品（モーター・電球・ロータゴム・パッキン・リング・キセノン基板等）
 - ②輸送中における本製品の保護を目的とした梱包材料（製品梱包箱・ビニール袋・緩衝材等）

第4条(免責事項)

1. 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、不良に関して前条に定める保証責任を負わないものとします。
 - ①本製品の輸送・運搬中に発生した衝撃・落下等の外部的要因により不良が発生した場合
 - ②本製品の製品仕様書・取扱説明書・取り扱い上の注意等に違反することにより不良が発生した場合
 - ③本製品が設置または接続された装置・機器・車両・船舶・建造物・ソフトウェア等による外的要因に起因して不良が発生した場合
 - ④お客様または第三者が事前に弊社の承諾を得ることなく本製品の分解・改造・補修・付属品取付等を行ったことにより不良が発生した場合
 - ⑤お客様または第三者の故意または過失により不良が発生した場合
 - ⑥お客様が第5条第3項の禁止事項に違反した結果、不良が発生した場合
 - ⑦火災・地震・台風・落雷等の天災地変または公害・塩害・静電気・停電・異常電圧等の外部的要因に起因して不良が発生した場合
 - ⑧本製品の販売時点における科学または技術に関する知見によっては、弊社が不良を予測することができない場合
 - ⑨通常使用に基づく本製品の自然消耗または経年劣化により不良が発生した場合
 - ⑩本製品が日本以外の国において使用されたことにより不良が発生した場合
 - ⑪保証期間の満了後に不良が発生し、お客様において当該不良が保証期間内に発生したことを証明することができない場合

⑫弊社に対して本書のご提示がない場合

2. 弊社は、第3条第1項の措置の実施の有無を問わず、不良に起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品（本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません）に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません）のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様が使用されるシステム・機械・装置等への本製品の適合性はお客様自身でご確認いただくものとし、弊社はこれらと本製品との適合性について一切の責任を負わないものとします。

第5条(ソフトウェアの取扱い)

1. 本製品に弊社が著作権者であるソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」といいます）が内蔵されている場合、弊社は、お客様に対して本ソフトウェアを日本国内で使用する非独占的で譲渡不能な使用権を許諾するものとします。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能を向上させるべく、自らの裁量により本ソフトウェアをバージョンアップすることができるものとします。弊社は、ソフトウェアのバージョンアップに起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品（本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません）に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません）のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様は、事前に弊社の承諾を得ることなく、以下の各号の行為を行ってはならないものとします。
 - ①本ソフトウェアを複製すること
 - ②本ソフトウェアの改変・結合・リバースエンジニアリング・逆コンパイル・逆アセンブル等を行うこと
 - ③本ソフトウェアを第三者に対して再使用許諾・貸与・レンタル・転売すること
 - ④本ソフトウェアを第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積すること
 - ⑤本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去すること

第6条(その他)

1. 本製品に関する製品仕様書・取扱説明書・カタログ等の記載内容は、事前に予告なしに変更する場合があります。
2. 本製品に関する弊社の責任は、本規定をもって全てとし、弊社はこれ以外に一切の責任を負わないものとします。
3. 本保証書は、日本国内においてのみ有効に効力を生ずるものとします。お客様または第三者が本製品を海外へ輸出される場合、本規定の適用は除外されるものとし、本製品に関する全ての責任は、輸出元に帰属するものとします。
4. 弊社は、お客様による紛失・損傷等の事由を問わず、お客様に対して本書の再発行を行わないものとします。
5. 本書は、本書に明示した条件に基づき保証をお約束するものです。従って、本書によって弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

第7条(準拠法および管轄裁判所)

本規定は、日本法を準拠法とし、日本法に従って解釈されるものとします。本規定の履行および解釈に関して紛争が生じたときは、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとします。

以上

株式会社パトライト

世界中に「安心・安全・楽々」をお届けする

株式会社 **パトライト**

J2F

www.patlite.co.jp

〔受付〕月～金 9:00～17:00

土・日・祝日・当社休業日を除く

●技術・修理相談窓口(無料) : 0120-497-090

※ご注文・価格・納期等は、販売店または各営業所拠点にお問い合わせください。